

科目名 Course Name	ICDコーディング II International Classification of Diseases Coding II			ナンバリング No.	D3-003		
年次	2年	期別	前期	単位数	2	授業形態	演習
担当者氏名	古川貴子						
連絡方法	C-ラーニングで対応。オフィスアワーは授業担当時間外。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP2、DP5、DP6						
授業の概要と 到達目標	<p>DPCを取り入れている医療機関にとって欠かせないICDコーディングの知識及び応用力の習得を図る。</p> <p>①ICD10・ICD-9-CMに関するコーディングの知識を習得し、疾病及び処置の分類ができるようにする。</p> <p>②DPC算定におけるICDコーディングの必要性を説明できるようにする。</p> <p>③症例に基づく分類方法を理解できるようにする。</p>						
授業の方法	診療科別の疾患及び検査・処置・手術に関連する講義・練習問題を通じてICDコーディングの上級レベルの習得を図る。						
学習成果	L01						
	L02						
	L03	ICDコーディング技能検定 2 級に合格できる。					
	L04	英語の疾病を読み解きコーディングを行うことができる。					
課題に対する フィードバック	小テストはテスト後に模範解答を示し、授業内に各自にフィードバックする。						
教科書/ 参考図書	ICDコーディング応用テキスト、基本テキスト(日本コーディングセンター)						
履修上の留意点 やルール等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コンピュータ教室は飲食禁止である。</li> <li>●PC操作の基本を理解すること。</li> <li>●ICDコーディング技能検定 2 級を受験する場合は必ず履修すること。</li> <li>●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。</li> </ul>						
担当教員の実務 経験	●実務経歴(職種:病院事務 職歴:通算 9 年)病院事務としての幅広い経験を症例やICDコーディングの指導に活かす。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	基礎知識・演習内容を理解している。授業に集中して取り組んでいる。			20	
レポート/作品					
発表					
小テスト	授業の進捗に合わせて随時確認テストを行い、理解度に応じて評価する。			30	
試験	授業の到達目標に掲げた項目の理解度に応じて評価する。				40
その他	検定試験の合否により加点する。				10
<b>合計</b>				50	50

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス・概要説明 PC操作について
	事前・事後学習	事前:コーディングソフトの使用方法 事後:疾病及び手術処置のコーディング練習
2	授業内容	感染症及び寄生虫症・新生物のコード化
	事前・事後学習	事前:テキスト 5～19 ページ 事後:演習問題 1,2 の練習
3	授業内容	血液・免疫疾患・内分泌疾患のコード化
	事前・事後学習	事前:テキスト 21～33 ページ 事後:演習問題 3,4 の練習
4	授業内容	精神及び神経系疾患のコード化
	事前・事後学習	事前:テキスト 35～45 ページ 事後:演習問題 5,6 の演習
5	授業内容	手術処置に関連するコーディングの解説
	事前・事後学習	事前:テキスト 145～150 ページ 事後:処置分類の方法について学習
6	授業内容	手術処置のコーディング演習 (小テスト①)
	事前・事後学習	事前:テキスト 151～152 ページ 事後:演習問題 21 の練習
7	授業内容	眼・耳の疾患のコード化
	事前・事後学習	事前:テキスト 49～53 ページ 事後:演習問題7の練習
8	授業内容	循環器系の疾患のコード化
	事前・事後学習	事前:テキスト 55～61 ページ 事後:演習問題 8 の練習
9	授業内容	呼吸器系及び消化器系疾患のコード化
	事前・事後学習	事前:テキスト 62～75 ページ 事後:演習問題 9,10 の練習
10	授業内容	皮膚・筋骨格系の疾患のコード化
	事前・事後学習	事前:テキスト 77～89 ページ 事後:演習問題 11,12 の練習
11	授業内容	腎尿路生殖器系の疾患のコード化
	事前・事後学習	事前:テキスト 92～95 ページ 事後:演習問題 13 の練習
12	授業内容	妊娠・分娩・産褥に関するコーディング (小テスト②)
	事前・事後学習	事前:テキスト 97～101 ページ 事後:演習問題 14 の練習
13	授業内容	新生児の病態に関するコーディング
	事前・事後学習	事前:テキスト 103～107 ページ 事後:演習問題 15 の練習
14	授業内容	先天奇形及び症状についてのコーディング
	事前・事後学習	事前:テキスト 111～113 ページ 事後:演習問題 16 の練習
15	授業内容	症状・徴候・異常臨床所見に関するコーディング
	事前・事後学習	事前:テキスト 115～117 ページ 事後:演習問題 17 の練習
16	授業内容	損傷・中毒に関するコーディング
	事前・事後学習	事前:テキスト 119～125 ページ 事後:演習問題 18 の練習
17	授業内容	傷病及び死亡の外因に関するコーディング
	事前・事後学習	事前:テキスト 129～141 ページ 事後:演習問題 19,20 の練習
18	授業内容	症例に基づくコーディング (症例 1～5) (小テスト③)
	事前・事後学習	事前:テキスト 155～157 ページ 事後:各症例に基づくコーディングの練習
19	授業内容	症例に基づくコーディング (症例 6～10)
	事前・事後学習	事前:テキスト 157～159 ページ 事後:各症例に基づくコーディングの練習
20	授業内容	症例に基づくコーディング (症例 11～15)
	事前・事後学習	事前:テキスト 160～162 ページ 事後:各症例に基づくコーディングの練習
21	授業内容	症例に基づくコーディング (症例 16～20)
	事前・事後学習	事前:テキスト 162～164 ページ 事後:各症例に基づくコーディングの練習
22	授業内容	症例に基づくコーディング (症例 21～25)
	事前・事後学習	事前:テキスト 165～167 ページ 事後:各症例に基づくコーディングの練習
23	授業内容	症例に基づくコーディング (症例 26～30)
	事前・事後学習	事前:テキスト 167～169 ページ 事後:各症例に基づくコーディングの練習

佐野日本大学短期大学 2022 年度シラバス

24	<b>授業内容</b>	症例に基づくコーディング(症例 31～35)
	<b>事前・事後学習</b>	事前:テキスト 170～172 ページ 事後:各症例に基づくコーディングの練習
25	<b>授業内容</b>	症例に基づくコーディング(症例 36～40)
	<b>事前・事後学習</b>	事前:テキスト 172～175 ページ 事後:各症例に基づくコーディングの練習
26	<b>授業内容</b>	症例サマリーのコーディング(1～4)
	<b>事前・事後学習</b>	事前:テキスト 178～182 ページ 事後:退院サマリーによるコーディングの練習
27	<b>授業内容</b>	症例サマリーのコーディング(5～8)
	<b>事前・事後学習</b>	事前:テキスト 183～187 ページ 事後:退院サマリーによるコーディングの練習
28	<b>授業内容</b>	症例サマリーのコーディング(9～12)
	<b>事前・事後学習</b>	事前:テキスト 188～194 ページ 事後:退院サマリーによるコーディングの練習
29	<b>授業内容</b>	症例サマリーのコーディング(13～16)
	<b>事前・事後学習</b>	事前:テキスト 195～199 ページ 事後:退院サマリーによるコーディングの練習
30	<b>授業内容</b>	学習のまとめ
	<b>事前・事後学習</b>	試験に備えてのコーディング練習